



《大山崎消防署長あいさつ》

大山崎町は、京都盆地の南西端である乙訓地域の南部に位置する面積5.97平方キロメートルの京都府下で最も小さな市町村です。

西には秀吉と光秀による天下分け目の戦い山崎合戦で知られる天王山、東には淀川水系の桂川・宇治川・木津川の三川が合流する地に位置し、文化価値の高い寺社仏閣や史跡、国宝の文化遺産など数多くの歴史スポットがある自然と歴史の豊かなまちです。

また、管内には東海道本線、新幹線など主要鉄道や名神高速道路、京都第二外環状線道路が縦横断し、大山崎JCT・ICは多方面からアクセスがあり、国道171号線に接続されるなど交通の要衝を担い、その周囲には自動車・電気等の量産型加工組立産業の大企業が立地するなど、自然・歴史文化・利便性・産業が調和するまちです。

大山崎消防署では、まちの安心安全を守るため、大山崎町が掲げる「みんなを『笑顔』にするまち 『え』えとこ、『が』んばる、『お』おやまざき」を共に目指し、これからも地域、事業所、地域防災リーダーである消防団、各行政機関と連携を密にして、地域特性に応じた防火・防災対策に署員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

令和3年8月1日

大山崎消防署長 佐伯 英樹